

# 月刊 やちまなこ

2013.1.15 発行

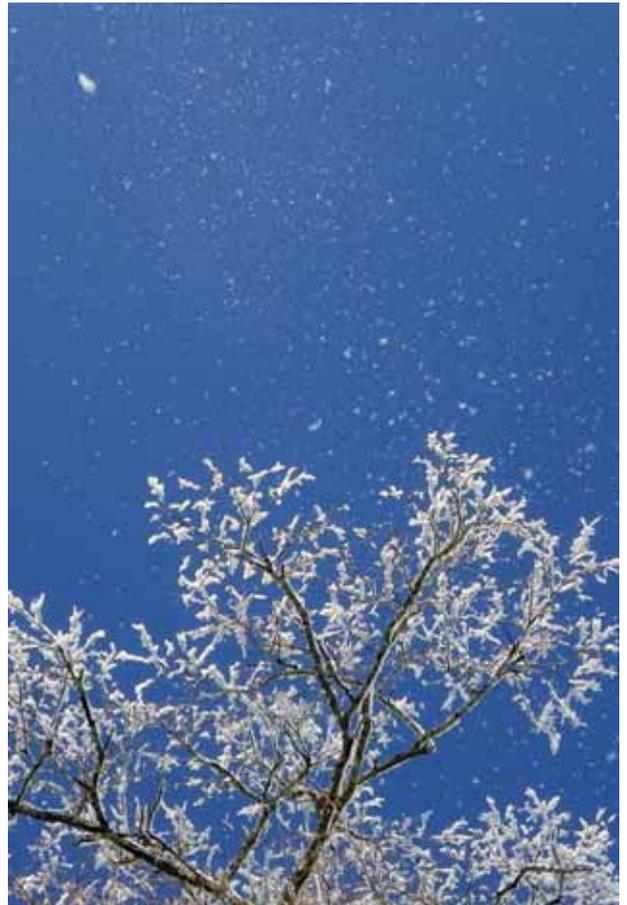
No. 182

## 1 月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより

早いもので2013年が明けて、1月も中旬を過ぎてしまった。暖冬といわれながら、昨年末から氷点下20度を下回った日が何日あっただろうか。とにかく寒いというより「痛い」という表現がいいようだ。

雪に覆われた湿原を流れる川筋は「けあらし」が立ち上り、無数の蓮氷がシャラシャラと音を残しながら流れていった。



# コッタロ川と湿原のほとりから

151 2013年1月のコッタロ湿原便り

コッタロ在住・中本 アキ子(文) 中本 民三(写真)

“ 初茜浴び瑞鳥の淑気かな ”

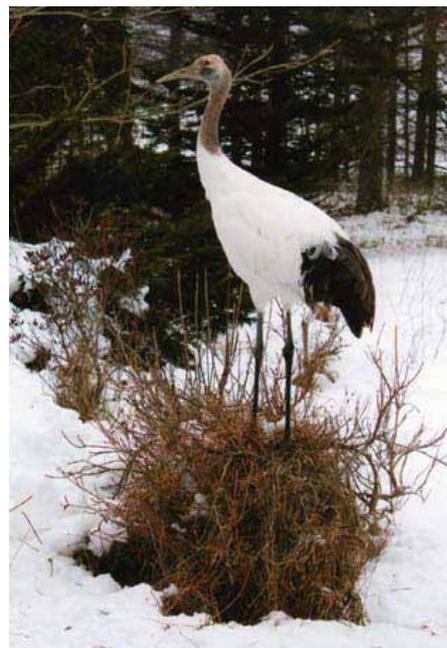
律儀にも定期便でもたらされた記録的な大雪は、ひとまず昨年度で打ち止まり、晴天続きの新年も早10日、「真冬日」を更新中。早朝 - 27 を記録するまさに12年ぶりと云われる大寒波に居座られております。しかし乍ら見渡す限り白無垢の大地には丹頂の夫婦舞が殊の外よく映えるコッタロです。又、何もかもが凍てつき、二本の一級河川であるコッタロ第1, 第2川も終に結氷した今、戸外では諸々の野生が遅しく息づいており、彼等が織り成す魅惑の光景からは、なかなか目が離せません。



先だって鹿撃ちの輩がぶっ放した一発の銃声でパニックに陥った 6頭のうちの 一頭は高さ2メートル余りの金網柵を飛び越えた後湿原へと逃げおおせたではありませんか。人の想像を絶する強靱なジャンプ力と逃走本能はすさまじく、スキージャンプのダブル『サラ』をはるかにしのぐ技の迫力は金で、更に度肝を抜かれた一瞬でした。

ところで前号でお知らせしたハイブリッド狐が、ものの本によると、大正時代にサハリンから持ち込まれた“銀狐”であるらしく、その特徴としての名残が黒っぽい尾っぽの先端部の白い一握りの毛だそうで、どうかこうにかその部分を写真でも確認出来るでしょうか？

さて、クロカンスキーもいよいよ佳境に入り、65才が高齢者とも思えぬまま、ツルになった気分で、山越え谷越えをくり返す毎日、楽しさはいや増すばかり。ひょっこり戻って庭を見ると、雪の冷たさから逃れてツツジの小枝に乗ったコツ&タロの幼鳥21羽目がホッペの毛もずい分黒ずんできて、子別れ間近を物語っており、そろそろ一鳥前になりつつあるのがわかるこの頃です。



## 湿原の住人たち その142

アカダモ、エルムの別名で呼ばれることもある春楡は、北海道の巨樹・名木に選定された150本、45樹種のひとつで、各地で御神木や記念木として大切にされてきました。古くから人の暮らしと関わりのある木だったことがうかがえます。アイヌ語は「チキサニ」chi(我ら)kisa(こする)ni(木)といい、アイヌの神話で天界にも稀な美しい女神であったとされるハルニレは、火の神として敬われたそうです。

塘路湖畔にあるハルニレも今は葉を落として枯木のようなのですが、枝には小さな冬芽があり、花や葉を乾燥や寒さから守るための鱗状の服を着て春を待っています。

「大好きでも樹皮を食べすぎないでね、エゾシカさん！」 首をかしげたハルニレ姫

## ハルニレ



## 湿原の空に手作り凧を揚げました。



自然ふれあい行事「連凧を作って揚げよう」を5日、開催しました。日本の凧の会会員の菊地利長さんを講師に、紙に干支のへびやアニメのキャラクター、文字などを描いて、骨となる竹ひごを糊づけしたものを各自3枚作り連凧にしました。当日は家族連れの参加者が多く、完成した凧はセンター裏にある塘路湖に向かい早速揚げました。微風の条件でしたが、中にはうまく風をとらえて揚がるものもあり、新しい年を迎えた湿原の空には、様々な凧が彩りを添えていました。

## つぼっちの塘路周辺うろうろ日記 Vol.66 「標茶町郷土館、緊急事態発生!？」

新年明けましておめでとうございます。

私の勤務する標茶町郷土館も、標茶市街に釧路集治監の事務所として建築されてから今年で127年目、そして周辺に森や湖、そして湿原が広がるこの場所へ標茶町郷土館として移築されてからも43年が経ちました。

昨年未郷土館の点検をしていると、四隅の柱に穴が開けられている状況を発見。確認すると柱の中は傷みがひどくボロボロになっていました。すぐに緊急工事が行なわれ、本年1月7日より傷んだ柱を取り除き、新しい柱を継ぎ足す補修工事が行われました。

127年前に建築された当初、主な柱は全て堅くて丈夫なナラ材を使って作られ、その後傷んだ柱の補修には、加工が容易なマツ材が使われてきました。明治、大正、昭和、平成と4つの時代を見

守ったこの建物は、時の経過を物語るように、継ぎはぎだらけです。ですが一見外観の変わらない建物の存在が、周辺の自然との調和を生み、その風景の一部になるのかもしれない。

どうぞ今年もよろしくお祈りします。 坪岡 始(標茶町郷土館学芸員)

1 がつ 9 にち ばしょ 郷土館



現在、補修個所の塗装が終わっていない為、2色になっています。  
無事に直ったので安心です。

# 2月の行事カレンダー

各行事とも事前の申込が必要です

## 楽しい冬の森散策

[日時] 2/16 (土) 10:00~12:00

[定員・参加料] 10名、無料

[場所] 塘路湖エコミュージアムセンター周辺

\* 雪積状況によってスノーシュー(貸出無料)を使用。防寒着、帽子、手袋、長靴。

問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで 015-487-3003

## 厳冬の湿原ハイク

[日時] 1/20 (日) 10:00~12:00

## 歩くスキーで冬の湿原ハイク

[日時] 2/10 (日) 10:00~12:00

申し込み 問い合わせは 温根内ビジターセンターまで 0154-65-2323

## 塘路湖・シラルトロ湖・コッタロ湿原周辺の自然情報

【植物】(1/14)雪原に飛ばされたヤチダモの実.ヤナギの銀白色のネコモ

【鳥】(12/17)ヤマゲラ.オオワシ (12/24)オオハクチョウ.アオサギ (12/28)タンチョウの番い (1/5)マガモ (1/6)ノスリ (1/12)オジロワシ.ヒヨドリ.ウソ

【その他】(12/27)蓮葉氷 (1/5)ワカサギ釣り解禁.フロストスラワー (1/6)エゾリス (1/7)エゾシカの死骸に群がるトビとカラス (1/10)標茶今季最低気温-25.9 を記録.キタキツネ (1/14)体長5~12cmのワカサギ.塘路湖の氷の厚さ(35~40cm)

サルボ展望台付近からシラルトロ湖にかけての国道391号線沿いは、エゾシカが多数出没しています。朝夕は結氷した湖と道路の行き来も目立ちます。湿原を車で観光する方は、車間距離を十分とり、路面状況にあわせた運転を心がけましょう。

コッタロ湿原展望台のWCは凍結防止のため来年4月30日まで閉鎖しています。

日出・日入時間 1/15(6:51,16:13) . 1/31(6:39,16:33) . 2/14(6:22,16:52)



ワカサギ釣り(塘路湖 1/14)

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あるこっと

088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野

TEL:015-487-3003 FAX:015-487-3004

E-mail:[emc@hokkai.or.jp](mailto:emc@hokkai.or.jp)

開館時間 10:00~16:00(4月~10月は17:00まで)

休館日:毎週水曜日 12月29日~1月3日 入館無料